

# 数学

## <全体分析>

試験時間	60分	解答問題数	5題
------	-----	-------	----

### 解答形式

全問客観式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**)

### 出題の特徴

取り組み易いのは問1、問4ぐらいで、残り3題には計算量の多いものや方針の立て難いものが含まれ、60分の試験時間で解き切るのは至難。解ける問題をセレクトする眼力も必要。

### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

問5は昨年に続き、空間ベクトルからの出題。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
問1 (1)	場合の数と確率	数学A	6つの袋から1つの袋を選び、そこから白玉を取り出す試行に関するいくつかの確率。	易
(2)	場合の数と確率	数学A	1~6の整数を小さい順に並べる並べ方。また、そのうち2個だけが等しくなる並べ方。	易
問2	三角関数	数学II	与えられた方程式に含まれる2つの三角関数の値をしぼり込み、三角方程式を解く。方針が立て難い。	難
問3	空間ベクトル	数学B	頂点Oのまわりの辺の長さや角度が与えられた四面体について、底面の外心を求める。計算が面倒。	やや難
問4	図形と方程式 積分法	数学II 数学II	円と放物線が異なる2点で接する条件。 線分と放物線で囲まれた部分の面積の計算。	標準
問5	空間ベクトル	数学B	球面と平面が交わってできる円、およびそのxy平面への正射影の面積をそれぞれ求める。 正射影の面積は、経験がないと難しい。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

例年、数学I、A、II、Bの主要分野から、標準レベルの問題を中心に出题されるので、高校で使っている問題集などで偏りなく、典型的な手法を身につけることが大切。

また、試験時間が60分と短いので、日頃から正確に素早く計算する練習を積んでおかなければならない。